

はじめての
コンテンポラリーダンス

さくら組は、沼田志歩さん、梶谷拓郎さんによるコンテンポラリーダンスのワークショップを行いました。「コンテンポラリーダンスってどんなの?」子ども達は興味津々です!「並べられている新聞紙は何に見える?」氷?岩?人それぞれ感じ方が違います。まず、講師の方々が即興で踊って見せてくださいました。その後皆で感じたままに音楽に合わせて踊ってみました。ゴツゴツした感じ、なめらかな動きなど新聞紙の動きをヒントに様々な動き・表現を楽しんでいました。



後半は肘やおへそ、足などで自分の名前を書いてみます。
それだけで楽しい動きができるのですね!



ひな祭り会の創作劇でどのような表現をしたら良いか、たくさんのヒントを頂いた気がします。今日の表現の仕方をこれからの創作劇に繋げていきたいと思えます!
教えて下さりありがとうございました!!

2023/2/8

講師プロフィール

沼田志歩(ぬまたしほ)

幼少よりクラシックバレエをはじめ、お茶の水女子大学舞踊教育学コースにてコンテンポラリーダンスを始める。大学卒業後 アムステルダム芸術大学De Theater Schoolに編入、卒業。卒業後ヨーロッパを拠点に活動し、オランダ・ハーグ現代美術館で奈良美智の個展オープニングで踊る等、色々なジャンルのアーティストとコラボレーションをする。

スイスのGisela Rocha Dance Company(2009)に参加し、高く評価される。Exhale Dance Tribe(アメリカオハイオ州, 2015)にゲストアーティストとして所属。

International Dance Festival in Taegu('10)等海外のフェスティバルに招聘される。第16回東京なかの国際ダンスコンペティション第一位('14)、全国舞踊コンクール創作部門第二位('14,'16)など受賞。現在、都立総合芸術高校特別非常勤講師(舞台表現科)

梶谷拓郎(かじやたくろう)

12歳より札幌舞踊会にてバレエを始める。ドイツ・ハンブルグの名門ハンブルグバレエスクール・シアタークラスに編入、ハンブルグバレエ団の数々の公演に参加。ミラノスカラ座300周年ガラ公演にも同校から代表の一人として参加。同校卒業後スイス・ジュネーブ、チューリッヒのカンパニーでダンサーとして新進振付家らの作品を踊る。

帰国後は、日本バレエ協会公演、World with Dance Festival(韓国)、ダンスシンフォニー、西島千博ソロダンスツアー、ヴァンクリーフ&アーペルイベント、ヴァカルディーイベント、MLB開幕戦(東京ドーム)などジャンルを越えて幅広く活躍している。

韓国国際モダンダンスコンペティション審査員特別賞、DCA第二位等受賞多数。

振付家としても活躍しており、札幌舞踊会に振り付けた作品にて同団体が芸術選賞を受賞。